

日本農村医学会雑誌投稿規程

1. 投稿者の資格, 著作権, 投稿にあたっての注意

- 1) 本誌への投稿者は, 共著者も含めてすべて本学会の会員に限る。
- 2) 本誌に掲載された論文および記事の著作権は, 一般社団法人日本農村医学会に帰属する。
- 3) 他誌に発表された論文(予定も含む)の投稿は認めない。二重出版の恐れのある類似論文の投稿に際しては, そのコピーを付けて, 編集委員会の決定に委ねる。
- 4) 投稿論文の研究について, 「医学系研究の利益相反(COI)に関する指針」に基づき, 共著者を含めた全著者の当該論文に関する利益相反に関する事項について COI 報告書(様式 2-A)を用いて開示し, 投稿論文とともに提出しなければならない。
開示内容は, 論文末尾, 文献の前に記載し公表する。利益相反開示事項がない場合は, 同部分に「本論文発表内容に関連して特に申告なし」の文言を記載する。

本書類は論文の採否には影響しない。

- 5) 投稿論文の採否は編集委員会の審査によって決定する。審査には査読制を採用する。編集委員会は審査の結果により, 著者に原稿の一部を変更することを求めることがある。
- 6) 原稿は本原稿のほかに, 原著についてはコピーを2部, その他の研究論文についてはコピーを1部つける。カバーレターを添える(様式)
- 7) 臨床試験関連論文を投稿する場合は, 試験開始前にその臨床試験情報を公的な「臨床試験登録機関」に事前登録しなければならない。対象となる web サイトを以下に示す。
大学病院医療情報ネットワーク(UMIN)臨床試験登録システム
<http://www.umin.ac.jp/ctr/index-j.htm>
公益社団法人日本医師会治験促進センター
<http://www.jmacct.med.or.jp/>
- 8) ランダム化比較試験(randomized controlled trial: RCT)論文の場合は, 改訂版 CONSORT 声明: The CONSORT Statement: Revised Recommendations for Improving the Quality of Reports of Parallel-Group Randomized Trials. JAMA 2001; 285, 15: 1987-1991. に準じる。詳細は以下の web サイト(日本語訳)を参照のこと。
http://homepage3.nifty.com/cont/CONSORT_Statement/menu.html

2. 本誌に掲載される投稿原稿の種類

- 1) 本文で使用する言語は, 日本語とし, それ以外の言語は認めない。
- 2) 本誌で扱う投稿原稿は研究論文とその他とする。研究論文は農村医学的な研究であり, 次の3つの分野からなる。
 - (1) 農業医学の諸問題
 - (2) 農村における保健・福祉に関する諸問題
 - (3) 農村における臨床医学的諸問題
- 3) 研究論文の種類
綜説……………研究・調査論文の総括・解説および展望
原著……………新しい手法, 解析法, 事実, 理論等に

関する論文, 独自の研究対象・方法にもとづく研究成果に関する論文

- 研究報告……………農村医学活動に関する科学的報告
症例報告……………農村医学的な症例の報告
看護研究報告……………農村保健・医療・福祉に関する看護職務の研究, 報告など
短報……………原著研究の短報, 手法の改良, 手法の提起に関する論文
資料……………農村医学に関する記録上重要なもの, または会員に参考になる社会科学, 自然科学に関する記録やまとめ

4) その他の投稿原稿

- 総会報告……………日本農村医学会総会の報告とまとめ
地方会報告……………地方会の抄録とまとめ
国際会議報告……………国際農村医学会の報告とまとめ
論説……………農村医学に関する主張, 意見

3. 原稿の構成と長さ

- 1) 原著の構成は次のようにし, 研究報告, 看護研究報告, 短報, 資料もこれに準ずる。
表題, 全著者名, 所属
概要(600字以内)……………論文の概要を記したものの。研究等の目的から結論にいたる全体の把握ができるように書く。
キーワード(5語以内)
緒言(はじめに, まえがき)……………研究の目的を明確に記す。
方法(研究方法, 調査方法, 解析方法, 実験方法, 等)……………研究・調査・実験の対象, 方法, 器具, 手順, 統計学的手法を詳細に記載する。
倫理的配慮
結果(研究結果, 調査結果, 解析結果, 実験結果, 等)……………研究等の結果・成績を, 本文, 表, 図の論理的順序に従って記載する。
考察……………結果の考察・評価・論述および知見の整理, 関連する他の研究の説明。そこから導かれる結論の強調。
結論(むすび)……………新知見の要約を含む。
謝辞……………必要な場合
COI 開示
文献
英文抄録(300語以内)
- 2) 症例報告の構成は次のようにする。
表題, 全著者名, 所属
概要(400字以内)
キーワード(5語以内)
緒言
症例……………症例の詳述
倫理的配慮
考察
結論
謝辞……………必要な場合
COI 開示
文献
英文抄録(200語以内)
- 3) 論文の長さは次のとおりとする。文字は, 論文タイトルから COI 開示までとし, 文献および英文抄録は含めない。

綜説……………12,000字以内とする。
原著……………10,000字以内とする。
研究報告……………10,000字以内とする。
症例報告……………5,500字以内とする。
看護研究報告…5,500字以内とする。
短報……………3,000字以内とする。
資料……………5,500字以内とする。

- (註1) 著者全員が内容について公的責任が取れるように研究に参与していること。
(註2) キーワードは、研究の対象、方法、内容などが分かるように選択する。
(註3) 表現は倫理面を十分に配慮する。患者の氏名、イニシャル、病歴番号を使用してはならない。
(註4) データは、図と表で重複しないよう、また、表や図で表したデータのすべてを本文中で繰り返さないようにする。
(註5) 英文抄録には、表題、全著者のフル・ネーム、所属を英文で添える。抄録の英訳を事務局に依頼する場合は、400字以内の和文抄録をつけ、英訳依頼と明記する。英訳の費用は投稿者の負担とする。
(註6) 薬品名は原則として一般名で書くこと。そのうえで、製品名(商標名)を記載する必要がある場合は、商標名の右肩に登録マーク(®)を記載する。
(註7) 参考文献は、引用順に番号をつけ、下記の形式で記載する。

①ジャーナルの場合

引用番号) 著者名(筆頭者から3名までは列記し、それ以上は他あるいは et al. とする)。タイトル。ジャーナル名(ジャーナル指定の略号) 発行年; 巻数(号数): 頁一頁。

- 1) 若月俊一. 農村医学の歴史と展望. 日農医誌 1981; 30(2): 56-80.
- 2) 岩崎二郎, 海老原 勇, 内田昭夫, 他. 山村, 農漁村における肺癌および胃癌死亡の症例対照研究. 日農医誌 1992; 41(2): 92-102.
- 3) Weissler AW, Harris WS, Schoenfeld CD, et al. Bedside technics for the evaluation of ventricular function in man. Am J Cardiol. 1969; 23: 577-583.

②書籍の場合

引用番号) 著者名, 書籍名, 編・訳者名, 出版地: 出版者, 発行年, 版, 巻.

③報告書・予稿集・テクニカルレポート等

引用番号) 著者名, タイトル, 資料名, 発行年; 頁一頁.

④原則として、インターネットサイト上の情報は参考文献として認めない。ただし、編集委員会で適切と判断した場合はサイト上の文献を認めることがある。その場合は下記の形式で記載する。

引用番号) 著者名, タイトル, 発表年; 引用元の URL (アクセス年月日)

- (例) 1) 厚生労働省大臣官房統計情報部人口動態・保健社会統計課: 人口動態統計速報(平成27年8月分), 2015年; <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/s2015/08.html> (2016.1.29アクセス)

4. 原稿の執筆要領

- 1) 日本語は、A4判の用紙にパソコンを用いて、上下左右に2.5cm以上の余白をあげ、適当な行間スペースをおいて印書する。また、原稿にはデータ(CD)

を添付する。

- 2) 表題の頁の左肩に、研究論文の種類(綜説, 原著, 研究報告, 症例報告, 看護研究報告, 短報, 資料の別)を記入する。
- 3) 外国人名, 地名, 化学物質名などは原綴を用い、一般化したものはカタカナでもよい。
- 4) 用語は、日本農村医学会用語集および日本医学会用語辞典に準ずること。省略形を用いる場合は、専門外の読者に理解できるように留意する。論文の表題や概要の中では省略形は使わない。標準的な測定単位以外は、本文中に初めて省略形を用いる時、省略形の前にそれが表す用語の元の形を必ず記す。
- 5) 度量衡の単位は、CGS単位に限る。
- 6) 図, 写真は、原則として白黒とし、そのまま印刷可能な明瞭なものに限る。トレーシングを要する場合には有料となる。カラー写真が必要な場合は編集委員会において判断し、実費負担とする。顕微鏡写真上には、縮尺の目盛りを入れる。ヒトの写真を用いる時は、対象が誰であるか分からないようにするか、本人の使用許可文書を添える。図・写真の番号, タイトル, 説明は、図・写真の下に記入する。
- 7) 表は、白黒とし、過密にならないように留意する。原則として、縦の線は入れず、横の線も最小限にする。表の番号, タイトルは、表の上に記し、註は表の下に脚注の形で入れる。
- 8) 図・写真, 表の挿入位置は、原稿の欄外に朱記する。
- 9) 本文の項目わけの記号・符号は、原則として次の順序に従う。
I. … 1. … 1) … (1) … ① … a. … a) …

5. 地方会報告

- 1) 地方会報告の投稿は会長の責任で行なう。
- 2) 表題, 発表者全員の氏名, 所属の順に記し、講演者に○印をつける。
- 3) 抄録の掲載を希望する場合は、抄録を含めた内容をJ-STAGEにサプリメントとして掲載することができる。抄録は400字以内とし、応募抄録ではなく、発表内容が簡潔に具体的に記されていること。図表は使用しない。

6. 掲載方法, 掲載料, 別刷など

- 1) 校正の初校は著者校正とする。
- 2) 掲載された原稿は返却しない。
- 3) 投稿原稿は刷り上がり6頁まで無料とする。ただし図表のトレース代と製版代は投稿者の負担とする。
- 4) 超過頁の組版代の実費は投稿者の負担とする。
- 5) 別刷は、30部を無料で進呈するが、それを超す分は実費を投稿者の負担とする。別刷の希望部数を、著者校正の際に原稿の第1頁に朱記する。

7. この規程は、「生物医学雑誌への統一投稿規定」に従っている。(※同規定は、<http://www.toukougitei.net/i4aURM7.html>等を参照されたい。)

(2023年1月27日 一部変更)

原稿送付先

〒100-6827 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル
一般社団法人 日本農村医学会 編集委員会 宛
TEL 03(3212)8005 FAX 03(3212)8008
E-mail: nouson-igaku@jarm.jp